

太宰府市文化ふれあい館開館30周年記念展

知つとつう?

※「歴史の散歩道」沿いの史跡を中心に

関連する国・県・市指定の文化財を紹介

太宰府のたからもの

市内の指定文化財



太宰府市指定 天然記念物 坂本のムクノキ



福岡県指定 考古資料 銅製経筒
所蔵：太宰府天満宮
画像提供：九州歴史資料館



国指定 特別史跡 大宰府跡

■ 会 期

4月18日(土) ~ 7月12日(日)

※5月30日(土)から多目的ホールでも市内の指定文化財を紹介

■ 開館時間

9:00~17:00

■ 観覧料

入場無料

■ 休館日

月曜日(祝日の場合は翌平日) ※5月7日(木)は休館

■ 協 力

太宰府市民図書館

※歴史の散歩道：太宰府市内の主要な史跡をつないだ散策路

太宰府市文化ふれあい館

〒818-0132 福岡県太宰府市国分四丁目9番1号

TEL: 092-928-0800 ホームページ: <https://dazaifu-bunka.or.jp>

交通アクセス 車 都市高速水城出口・九州自動車道太宰府インターより5分

電車 西鉄天神大牟田線 都府楼前駅より徒歩15分

バス コミュニティバスまほろば号「文化ふれあい館」下車



知っとう？太宰府のたからもの ～市内の指定文化財～

太宰府市文化ふれあい館は、平成 8 年の開館から今年で 30 年を迎えました。太宰府市内の主要な史跡をつないだ散策路「歴史の散歩道」のガイダンス施設として誕生して以来、さまざまな太宰府の歴史や文化を紹介する活動を続けてきました。今回、展示室では市内の国・県・市指定・登録文化財の中から、主に「歴史の散歩道」沿いに点在する史跡と関連する文化財を取り上げます。また、5月30日(土)からは多目的ホールでも、市内の指定文化財を写真で紹介します。

市内にはどんなたからもの(指定文化財)があるの？

その一例を見てみよう！

■「齋藤家資料」

太宰府市指定 有形文化財(絵画)

江戸時代後期、太宰府では、齋藤秋圃・梅園という町絵師が活躍しました。「齋藤家資料」は、秋圃・梅園の絵画制作に関する画稿や日記など、1408 件から構成された資料群です。



「齋藤家資料」より「天満神図」
太宰府市教育委員会所蔵

■「水城跡」

国指定 記念物(特別史跡)

水城は、663 年の白村江の戦いで敗北した日本が国土防衛のため、664 年に築造した土塁です。現在も水城の広大さをうかがい知ることができます。



水城展望台から望む水城跡

■「観世音寺講堂及金堂」

福岡県指定 有形文化財(建造物)

観世音寺は、661 年に崩御した母・斉明天皇の供養のため、天智天皇の発願によって建立されました。現在、県の指定を受けている講堂と金堂は江戸時代に再建されたものです。



画像提供：観世音寺

■「筑前国分寺跡」

国指定 記念物(史跡)

筑前国分寺は、国分尼寺とともに、741 年に聖武天皇の「国分寺建立の詔」によって各国に造られた寺院のうちの 1 つです。塔・回廊・講堂などが平面復原されています。



筑前国分寺講堂跡の風景

■「鬼すべ」

福岡県指定 民俗文化財(無形民俗文化財)

毎年 1 月 7 日の夜に、太宰府天満宮で除災招福を願って執り行われる火祭りです。986 年に菅原道真の曾孫・輔正によって始められたと伝えられています。



画像提供：太宰府天満宮

■「太宰府神社のクス」

国指定 記念物(天然記念物)

太宰府天満宮の境内には「天神の森」と呼ばれる 51 本ものクスノキの巨樹群があります。そのうち、最大規模を誇るクスノキ 2 本が国の指定を受けています。



画像提供：太宰府天満宮

※「」内は指定文化財の名称です。

■ 展示期間中の催し物

【ギャラリートーク】 申込不要・参加無料

各担当学芸員による展示解説を行います。

第 1 回 6 月 14 日(日) 10:00 ~

第 2 回 7 月 12 日(日) 10:00 ~

【講座】 要申込・有料

第 1 回太宰府学講座 ※4月下旬より申込み開始

題名 「古仏の殿堂・観世音寺
—その魅力と特色を語る—」

講師 井形進氏(九州歴史資料館)

日時 6 月 20 日(土) 13:30 ~ 15:30

定員 50 名 受講料 500 円

※日時・内容は変更となる場合があります。詳細は館の HP をご覧ください

